

大学事務職員大改造論

－職員が日本の大学を底上げする－

英国・ヨーロッパにおける職員研修を体験して

松村 彩子 氏 (名古屋大学教育推進部事業推進課事業推進第二係・主任)

講演概要 職業は何かと尋ねられて「大学事務職員です」と答えると、「学生が夏休みのときは休みなんですよ。大学は夏休みが長くていいですね」と言われて、苦笑してしまった経験はないだろうか。職員は多忙であるし、毎年増え続けるプロジェクトやら改革で日本の大学職員は常に疲弊していると答えたいのが本音である。

それでも求められる大学改革。今、日本の大学の底上げのために必要なことは、事務職員の人材育成であると考えます。

本報告では、報告者が英国・ヨーロッパで実際に体験した事務職員向けの研修紹介や、日本の大学で活かせる事務職員等の人材育成に関するアイデアの提示を行ってみたい。

2018年6月14日(木) 18:00－19:30

場 所：名古屋大学東山キャンパス 文系総合館 7F カンファレンスホール

参加のお申込は下記ウェブサイトよりお願いいたします。
<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/>

- いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。
- ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。
構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。

お問合せ先：info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-5696